

頭頸部がんレジメン

2024年10月最終

当院コード	レジメン名	コメント	催吐性リスク	投与期間	コース期間	薬剤情報 薬品名：数量 投与日
DEN05	weekly Cetuximab (2回目以降) 外来02頭頸部癌	day1: Cetuximab 250mg/m <sup>2</sup> (基本、放射線併用) PDもしくは許容できない有害事象が発言するまで投与	最小度催吐性リスク	1	6	アービタックス注射液:250mg/m <sup>2</sup> Day1
IN326	weekly CDDP+RT療法 外来02頭頸部癌	RTに同時併用 外来実施の際はRT室との調整必要	高度催吐性リスク	1	6	シスプラチン点滴静注:40mg/m <sup>2</sup> Day1
INI333	PTX+Cmab (biweekly) 療法 外来02頭頸部癌	Day1: Cetuximab(500mg/m <sup>2</sup> ) PTX(80mg/m <sup>2</sup> ) Day8:PTX(80mg/m <sup>2</sup> ) Cmab2週ごと	軽度催吐性リスク	8	6	アービタックス注射液:500mg/m <sup>2</sup> Day1 パクリタキセル注射液:80mg/m <sup>2</sup> Day1 Day8
OTO10	Nivolumab (2週毎) 入外共通02頭頸部癌	PDまで	最小度催吐性リスク	1	13	オプジーボ点滴静注液:240mg Day1
OTO12	Pembrolizumab(3週毎)外来02再発転移頭頸部癌	day1: Pembrolizumab OTO11 6サイクル終了後に開始 PDまで	最小度催吐性リスク	1	20	キイトルーダ点滴:200mg Day1
OTO13	PTX+Cet【初回】療法 外来02頭頸部癌	Day1: Cetuximab(400mg/m <sup>2</sup> ) PTX(80mg/m <sup>2</sup> ) 2コース目以降はOTO14 休業完了日 day7	軽度催吐性リスク	1	6	アービタックス注射液:400mg/m <sup>2</sup> Day1 パクリタキセル注射液:80mg/m <sup>2</sup> Day1
OTO14	PTX+Cet【2回目〜】療法 外来02頭頸部癌	Day1: Cetuximab(250mg/m <sup>2</sup> ) PTX(80mg/m <sup>2</sup> ) 初回レジメンはOTO13 休業完了日 day7	軽度催吐性リスク	1	6	アービタックス注射液:250mg/m <sup>2</sup> Day1 パクリタキセル注射液:80mg/m <sup>2</sup> Day1
OTO17	DTX+HER (初回) (3週毎) 外来02頭頸部癌	PDまで ※トラスチマブ BSIに唾液腺癌適応ないためトラスチマブ使用	軽度催吐性リスク	1	20	ドセタキセル点滴静注液:70mg/m <sup>2</sup> Day1 ハーセプチン注射液:8mg/kg Day1
OTO18	DTX+HER (2回目以降) (3週毎) 外来02頭頸部癌	PDまで ※トラスチマブ BSIに唾液腺癌適応ないためトラスチマブ使用	軽度催吐性リスク	1	20	ドセタキセル点滴静注液:70mg/m <sup>2</sup> Day1 ハーセプチン注射液:6mg/kg Day1